

小野俊一 しゅんいち ロシア文學者。明治二十五年五月一日京都生れ、昭和二十二年五月二十一日歿（二八九—一九五）。筆名瀧田陽之助。ロシア留學、動物學專攻。京都帝國大學助教、工政會理事、日本少國民文化協會理事長、日本科學技術連盟參與等歴任。ロシア人ヴァイオリニスト小野アンナは妻。

著譯書 『子孫豈不拜論—附生理學博士—子孫を懲む—』（大正十三年六月十五日黎明社）、『ドン・ガト著—獨逸再興主ヒットラー—』（編、昭和七年十一月六日タイム大通信社）『國際パンナレット通信』（大東亞ものばだり）（昭和十九年二月）『千代新聞社—改訂日本少國民文庫—』、リデイヤ・アヴネーロワ著『チエーホフとその戀』（瀧田陽之助名、譯、昭和二十七年六月）『千代新聞書店—角川文庫—』等。